



## 投稿フォトギャラリー

撮影者 撮影日 撮影場所



西野浄水場と西野梅林

撮影者 藤原敏明さん 撮影日 平成27年3月

撮影場所 西野5丁目



春分の夕焼にテイクオフ  
撮影者 中野栄さん 撮影日 平成27年3月  
撮影場所 広島空港



芝のカーペット

撮影者 中原静恵さん 撮影日 平成27年4月  
撮影場所 本郷町北方



筆影山からの眺め

撮影者 水野真由美さん 撮影日 平成27年3月  
撮影場所 幸崎能地

### 投稿写真を募集

テーマ ～みはらの四季、みはら再発見、みはらの新たな観光スポット～

応募期限 7日(木)(必着)  
応募資格 市内に在住か在勤・在学の学生  
募集枚数 1人1枚  
選考 総務広報課で選考  
※投稿写真の著作権は市に帰属します。

※投稿写真は返却しません。  
※広報誌で紹介できなかった写真は、市ホームページへ掲載することもあります。  
申し込み 郵送またはEメールで、写真データか写真(L判サイズ)と、①撮影

者名②住所・電話番号③撮影日④撮影場所⑤作品名を総務広報課(〒723-8601港町三丁目5番1号 ☎0848-67-6007 [somukoho@city.mihara.hiroshima.jp](mailto:somukoho@city.mihara.hiroshima.jp))へ



▲新入団員を前に訓示する岡本 茂 消防団長

「基本の確認を徹底させた」と話すのは、4月に1,360人の団員を束ねる消防団長に就任した岡本茂さん。「火災や災害の現場に一つとして同じものはない。だからこそ基本が物を言う」と、改めて地道な訓練の大切さを強調します。合併前の平成2年、結婚を機に大和町に転入して来た岡本さん。「友達が増えるから入ってみないか」と近所の人に誘われて始めた活動は、今年で

### 新しい消防団の在り方を模索

課題は、人員確保と団員の若返り。「女性の持つ細やかさもこれからの消防団には不可欠」と、女性団員の確保にも力を入れます。「魅力を伝えられるよう広報の仕方も見直したい」と意欲を見せます。  
平成24年に深町で発生した山火事では、団員2人が負傷しました。「けががないことが一番」と、新団長として安全を最優先した活動を心掛けます。

25年目を迎えました。入団以来、一貫して大切にしているのは人の和です。小さな判断ミスが事故につながる火災現場。「仲間を信頼していいと、緊迫した場面で冷静に行動できない」と言います。「地域のために力を尽くせば、それだけ地域の人に頼りにされる。それがまたやる気につながる」と、地元を愛し、愛される消防団も理想の姿です。



さまざまな分野でがんばる、キラリと光る人や活動を紹介します。



市消防団長に就任した 岡本 茂さん